

養殖シマアジの病気に対する新たなワクチンを開発

水産研究部

1. 研究の背景

養殖シマアジは、その食味の良さから国内だけでなく特にアジア圏を中心に人気があり、海外輸出も行われている。シマアジで新たな型のレンサ球菌症（Ⅲ型レンサ球菌症）の大きな被害が発生していることから、その被害を防止するために、新たなワクチンを開発することを目的とした。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- (1) 新たな型のレンサ球菌症（Ⅲ型レンサ球菌症）に対するワクチンを試作した。
- (2) 感染実験により試作ワクチンの高い効果を確認した。



図1 大分の県産品「養殖シマアジ」

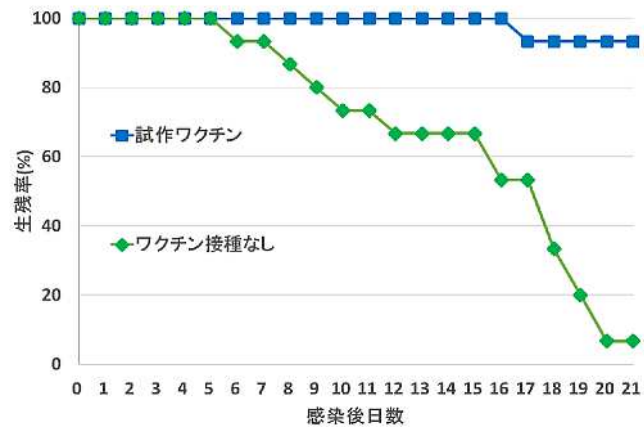


図2 試作ワクチンを接種したシマアジへのⅢ型レンサ球菌の感染実験結果

・試作ワクチンを接種したシマアジにⅢ型レンサ球菌を実験的に感染させたところ、ワクチンを接種していないシマアジでは生残率が10%以下であったが、ワクチンを接種したシマアジでは90%以上が生残した。

3. 期待される効果

- (1) 試験の成果を活用した試作ワクチンの製品化
- (2) 製品化したワクチンの現場利用による養殖シマアジの生産量増加

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター水産研究部 養殖環境チーム
TEL : 0972-32-2155
住所 : 佐伯市上浦大字津井浦194番地6